



平成28年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年4月8日

上場会社名 シグマ光機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7713 URL <http://www.sigma-koki.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 近藤 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 菊池 健夫 TEL 03-5638-8221
 四半期報告書提出予定日 平成28年4月13日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第3四半期の連結業績（平成27年6月1日～平成28年2月29日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第3四半期	5,632	13.1	619	58.5	698	49.1	463	68.2
27年5月期第3四半期	4,978	△1.6	391	25.9	468	17.9	275	26.1

(注) 包括利益 28年5月期第3四半期 407百万円 (△29.3%) 27年5月期第3四半期 576百万円 (36.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第3四半期	61.53	—
27年5月期第3四半期	36.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年5月期第3四半期	14,317	11,691	81.3	1,545.67
27年5月期	13,966	11,510	82.1	1,521.65

(参考) 自己資本 28年5月期第3四半期 11,642百万円 27年5月期 11,461百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
28年5月期	—	15.00	—	—	—
28年5月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年5月期の連結業績予想（平成27年6月1日～平成28年5月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	10.8	660	51.7	740	33.2	470	43.7	62.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年5月期3Q	7,811,728株	27年5月期	7,811,728株
② 期末自己株式数	28年5月期3Q	279,372株	27年5月期	279,328株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年5月期3Q	7,532,379株	27年5月期3Q	7,532,400株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。又、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国経済の減速や、原油価格の下落等による一部の新興国の経済成長の鈍化が見られましたが、米国経済は引き続き堅調に推移し、欧州経済も緩やかながら回復基調で推移しております。一方、わが国経済は、個人消費は軟調ですが、設備投資の緩やかな増加が見られる等、緩やかな回復基調で推移しております。その一方で、中国および新興国経済の経済成長の減速や、資源価格の下落、米国の利上げの動向などに加え、地政学的なリスクが世界経済に及ぼす影響等の懸念材料も増しております。

当社グループにおいては、大学・国立研究開発法人向け研究開発分野は会計年度末に向け研究開発予算の執行が進み、光学要素部品や光学ユニット製品に需要の増加傾向が見られ、堅調に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、国内・アジア地域の携帯端末市場に関連する半導体・電子部品業界やモバイル用FPD業界等における設備投資に引き続き活発な動きが見られ、組込み用光学要素部品や光学システム製品の需要は堅調に推移いたしました。米国地域では、バイオ業界や医療業界向け組込み用光学要素部品の需要は堅調に推移いたしました。又、欧州地域では、大学・官公庁向け研究開発分野を中心に光学要素部品の需要が増加いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは、中核技術である光学研磨・薄膜技術の高度化と技術融合、レンズユニット等の高付加価値製品の販売強化、ワンストップでのソリューション提案の強化、適正な納期・価格・品質によるお客様満足度の向上に注力いたしました。又、生産の効率化、購買機能の強化等による生産コストの削減や全般的な経費削減に、引き続き取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は56億3千2百万円（前年同期比13.1%増）、営業利益6億1千9百万円（前年同期比58.5%増）、経常利益6億9千8百万円（前年同期比49.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4億6千3百万円（前年同期比68.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりでございます。

①要素部品事業

当事業においては、国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野において、会計年度末に向けて研究開発予算の執行が進み、需要に増加傾向が見られ、堅調に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野及び産業分野の検査・製造装置の組込み用においては、国内における設備投資に回復の動きが見られた結果、研究開発投資を中心とした需要は堅調に推移いたしました。国内・アジア地域の携帯端末市場に関連する半導体業界向けやモバイル用FPD業界向けのレーザ加工機・検査装置組込み用やアライメント用の手動/自動位置決め製品及び光学素子製品の需要は堅調に推移いたしました。なお、米国地域を中心にバイオ業界、医療業界向けの組込み用の光学素子製品の売上は堅調に推移いたしました。又、欧州地域の研究開発分野及び産業分野向けの光学基本機器製品及び光学素子製品については、売上が堅調に推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は48億8百万円（前年同期比13.4%増）となり、営業利益は9億1千6百万円（前年同期比17.3%増）となりました。

②システム製品事業

当事業においては、国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野において、会計年度末に向けて予算執行が進み、需要は堅調に推移いたしました。民間企業向け研究開発分野においては、産業分野における研究開発投資・新規設備投資について回復の動きが見られ、需要は堅調に推移いたしました。光学ユニット製品及び光学測定・分析装置製品、観察光学系システム製品の引き合いが増加傾向にあります。又、国内・アジア地域を中心に、携帯端末市場に関連する半導体業界向けやモバイル用FPD業界向けのレーザ加工機・検査装置組込み用のレンズユニット等の光学ユニット製品の需要は堅調に推移いたしました。

その結果、セグメント間の内部売上高を含む売上高は8億3千1百万円（前年同期比10.3%増）となり、営業利益は6百万円（前年同期は営業損失8千7百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ以下のとおりとなりました。

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.3%増加し、79億7千万円となりました。これは、有価証券が3億6千1百万円、受取手形及び売掛金が2億4百万円それぞれ増加し、現金及び預金が1億9千2百万円減少したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、63億4千6百万円となりました。これは、長期繰延税金資産が1千3百万円増加し、建物及び構築物が6千8百万円、無形固定資産の「その他」が4千万円、投資不動産が3千3百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

その結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、143億1千7百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて19.2%増加し、17億9千4百万円となりました。これは、未払法人税等が1億4千4百万円、支払手形及び買掛金が1億3千5百万円それぞれ増加し、流動負債の「その他」が3千8百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.5%減少し、8億3千2百万円となりました。これは、長期借入金が8千4百万円、固定負債の「その他」が5千6百万円それぞれ減少したことなどによるものです。

その結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6.9%増加し、26億2千6百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1.6%増加し、116億9千1百万円となりました。

自己資本比率は、81.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月25日に公表いたしました業績予想から修正はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,824,161	2,631,567
受取手形及び売掛金	2,024,641	2,228,968
有価証券	388,915	750,720
商品及び製品	926,050	882,628
仕掛品	236,697	315,265
原材料及び貯蔵品	854,992	909,847
繰延税金資産	109,971	161,330
その他	67,832	94,925
貸倒引当金	△4,497	△4,362
流動資産合計	7,428,766	7,970,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,032,296	963,808
機械装置及び運搬具(純額)	477,357	450,450
土地	1,321,741	1,321,741
その他(純額)	121,277	129,361
有形固定資産合計	2,952,672	2,865,361
無形固定資産		
その他	217,332	176,506
無形固定資産合計	217,332	176,506
投資その他の資産		
投資有価証券	595,096	565,639
繰延税金資産	129,328	143,259
投資不動産(純額)	2,092,427	2,059,339
その他	566,684	552,029
貸倒引当金	△15,642	△15,542
投資その他の資産合計	3,367,894	3,304,725
固定資産合計	6,537,899	6,346,592
資産合計	13,966,666	14,317,485

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年2月29日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	811,826	947,484
短期借入金	233,000	205,000
未払法人税等	45,902	190,749
役員賞与引当金	11,000	—
賞与引当金	3,415	88,562
受注損失引当金	14,676	15,058
その他	385,504	347,343
流動負債合計	1,505,325	1,794,198
固定負債		
長期借入金	186,000	102,000
退職給付に係る負債	526,602	547,778
その他	238,687	182,240
固定負債合計	951,290	832,018
負債合計	2,456,616	2,626,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,623,347	2,623,347
資本剰余金	3,092,154	3,092,154
利益剰余金	5,543,757	5,781,293
自己株式	△204,052	△204,094
株主資本合計	11,055,207	11,292,701
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	115,461	82,437
為替換算調整勘定	307,618	281,946
退職給付に係る調整累計額	△16,540	△14,526
その他の包括利益累計額合計	406,539	349,856
非支配株主持分	48,302	48,711
純資産合計	11,510,050	11,691,268
負債純資産合計	13,966,666	14,317,485

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
売上高	4,978,486	5,632,450
売上原価	2,988,350	3,372,034
売上総利益	1,990,136	2,260,415
販売費及び一般管理費	1,598,982	1,640,603
営業利益	391,154	619,811
営業外収益		
受取利息	4,284	11,312
受取配当金	1,698	1,271
不動産賃貸料	126,295	118,212
その他	20,753	27,610
営業外収益合計	153,031	158,407
営業外費用		
支払利息	3,373	2,817
不動産賃貸費用	66,183	60,518
その他	5,999	16,292
営業外費用合計	75,556	79,628
経常利益	468,629	698,590
特別利益		
固定資産売却益	1,380	—
保険解約返戻金	8,107	—
特別利益合計	9,488	—
特別損失		
固定資産売却損	549	—
減損損失	12,645	2,064
特別損失合計	13,195	2,064
税金等調整前四半期純利益	464,922	696,525
法人税、住民税及び事業税	205,827	283,723
法人税等調整額	△17,581	△53,932
法人税等合計	188,245	229,791
四半期純利益	276,676	466,734
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,131	3,227
親会社株主に帰属する四半期純利益	275,545	463,507

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成27年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成28年2月29日)
四半期純利益	276,676	466,734
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	35,597	△33,024
為替換算調整勘定	266,286	△28,491
退職給付に係る調整額	△2,200	2,013
その他の包括利益合計	299,683	△59,502
四半期包括利益	576,359	407,232
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	568,243	406,823
非支配株主に係る四半期包括利益	8,115	408

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,226,423	752,063	4,978,486	—	4,978,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,806	1,837	17,643	(17,643)	—
計	4,242,229	753,900	4,996,129	(17,643)	4,978,486
セグメント利益(又は損失)	780,987	(87,839)	693,148	(301,993)	391,154

(注) 1. セグメント利益(又は損失)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益(又は損失)の調整額は、セグメント間取引消去△17,643千円、全社費用△284,350千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 2	合計
	要素部品事業	システム製品 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,807,566	824,883	5,632,450	—	5,632,450
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,015	6,890	7,905	(7,905)	—
計	4,808,581	831,773	5,640,355	(7,905)	5,632,450
セグメント利益	916,037	6,320	922,358	(302,546)	619,811

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去△7,905千円、全社費用△294,640千円であります。なお、全社費用は各報告セグメントに配分できない管理部門等に係る費用であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。